

はじめに

急速な社会の変化に伴い、今日、子どもたちに「確かな学力」や「豊かな心」、「健康・体力」など、「生きる力」を育むことが強く求められています。

そのような中、本県では「一人ひとりの夢の実現」を教育ビジョン推進の中期目標として掲げ、平成13年度から、少人数教育の推進、抽出児童生徒による学力調査の実施、指導事例集Webの作成、あるいは、授業公開・授業評価を生かした授業改善などを通して、「確かな学力」の定着・向上に取り組んでまいりました。

さらに、平成17年度からは、「学力向上総合プロジェクト事業」として、全県的な学力調査の実施や小・中・高等学校が連携した研修会の開催など、総合的な学力向上対策を強化してまいりました。

本学力調査は、学力の実態を把握し、指導方法の工夫改善に生かすことを目的として、平成17年11月、小学校5年生、中学校2年生の全児童生徒を対象として実施したものです。

また、児童生徒の学習意欲の向上や学習習慣の定着を図るために、質問紙調査や学力に関する意識調査も併せて実施し、児童生徒や保護者、教員の学習に対する考え方等も把握してまいりました。

本報告書は、ペーパーテストの結果と考察、今後の指導方法等を、概要としてとりまとめたものであり、今後、質問紙調査や学力に関する意識調査の結果との関係を考察し、平成18年7月を目途に、より詳しくまとめていくことにしています。

各学校、関係教育機関におかれましては、本報告書を十分に活用し、児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明確にし、指導計画の見直しや指導方法の工夫改善を図るなど、学力向上対策に積極的に取り組んでいただきたいと思えます。

終わりにになりましたが、本調査を実施するにあたって格別な御尽力をいただきました各市町村教育委員会、各学校、山口大学教育学部の皆様に対しまして、深く感謝申し上げます。

平成18年3月

山口県教育委員会教育長 藤井俊彦